

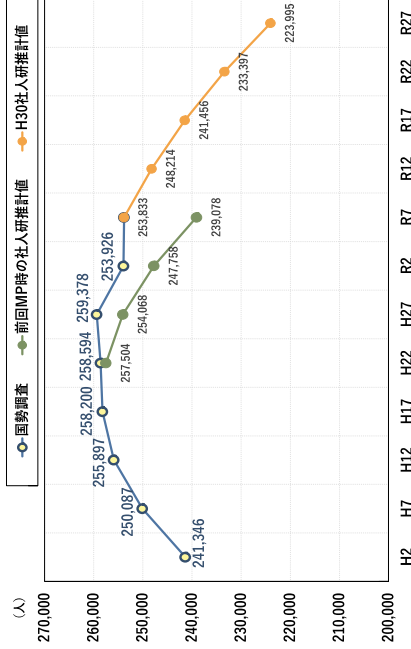
# 帯広圏総合都市交通体系調査の概要について

## 交通マスタープラン作成の背景

- ・前回（H17～H19）の調査から15年近くが経過しており、この間、人口減少や高齢化の進行、道路状況など、都市交通を取り巻く社会情勢は大きく変化。
- ・社会情勢の変化により生じた新たな課題や、前回調査における人口推計・交通量推計と現況の乖離に対応するため、調査を実施する必要。

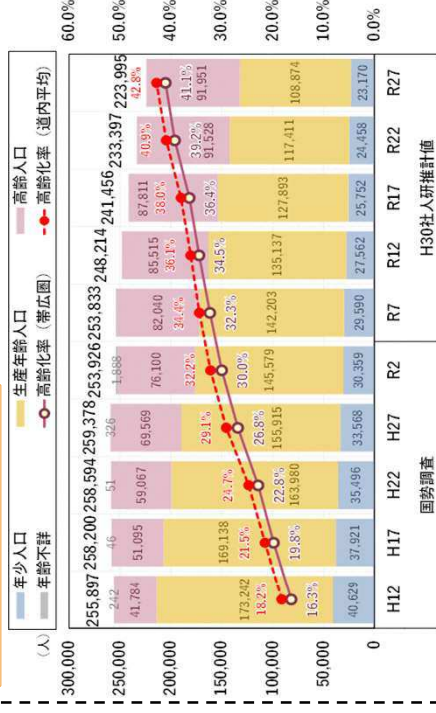
## 社会経済情勢の変化と都市と交通の課題

### 人口減少の進行



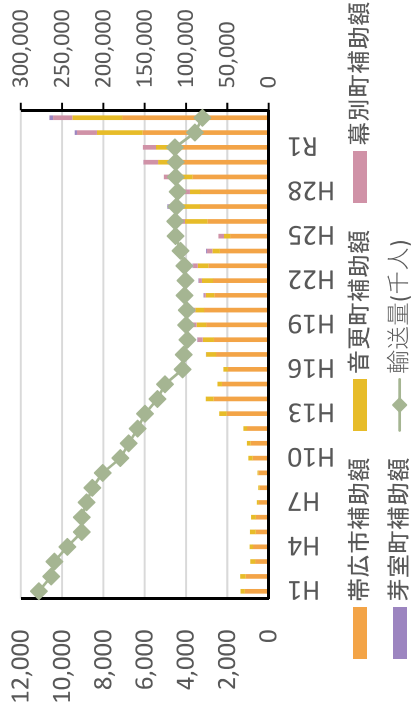
- 帯広圏においては、H27をピークに人口減少に転じている。
- 前回MP策定時の人口推計値に比べ、人口減少割合は小さいものの、今後、更なる人口減少が見込まれている。

### 少子高齢化の進展



- 帯広圏の高齢化率（65歳以上の人口割合）は、令和2年に30%を超え、今後とも増加が進行する見込み。
- 高齢化を道内平均と比較すると、道内平均と同程度の高齢化率となっており、今後とも増加する見込み。

### 路線バス利用者及び補助金の推移



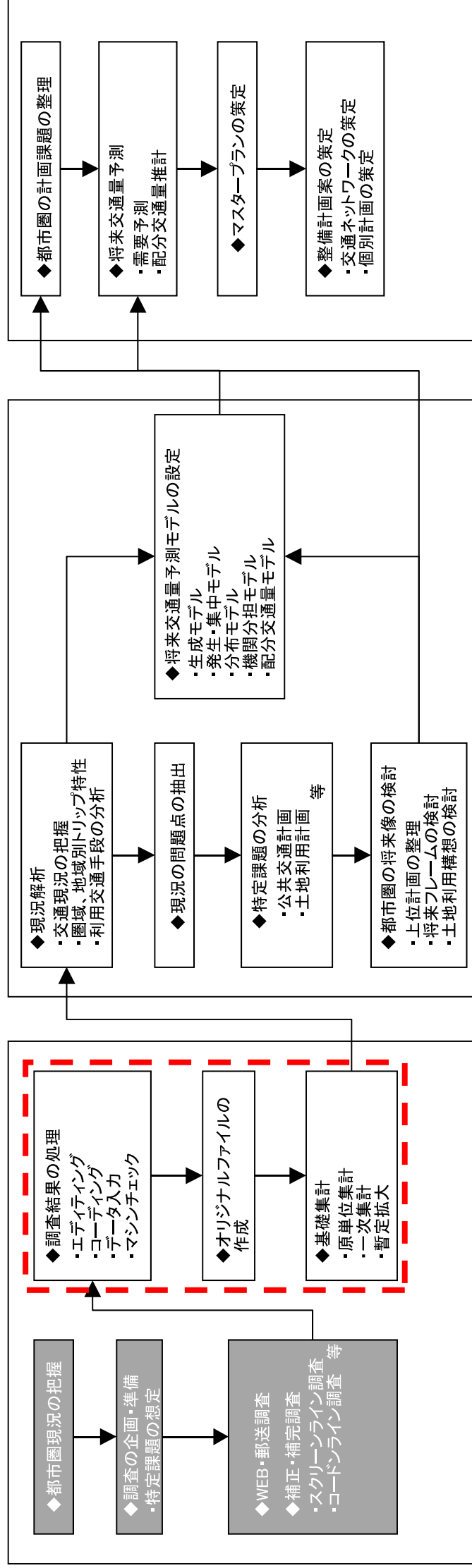
- 公共交通利用者は、近年、ほぼ横ばいで推移していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により大幅に減少。
- これに伴い、路線バス維持に係る沿線自治体の補助金は増加。

調査の全体像と今年度調査の位置づけ

1年目 (R4年度)  
実態調査

2年目 (R5年度)  
現況解析

3年目 (R6年度)  
マスタープラン策定



調査日と配布回収期間

第1ロット	配布日 R4.9.30 (金)	調査日		配布回収期限 R4.10.28 (金)	配布数 6,619世帯 ・帯広市：4,538世帯 ・音更町：1,053世帯 ・芽室町：414世帯 ・幕別町：614世帯
		平日 R4.10.12 (水)	休日 R4.10.9 (日)		
第2ロット	R4.10.7 (金)	平日 R4.10.19 (水)	休日 R4.10.16 (日)	R4.11.4 (金)	6,612世帯 ・帯広市：4,531世帯 ・音更町：1,053世帯 ・芽室町：414世帯 ・幕別町：614世帯
		休日 R4.10.14 (金)			
第3ロット	R4.10.14 (金)	平日 R4.10.26 (水)	休日 R4.10.23 (日)	R4.11.11 (金)	6,783世帯 ・帯広市：4,699世帯 ・音更町：1,054世帯 ・芽室町：414世帯 ・幕別町：616世帯
		休日 R4.10.21 (金)			
第4ロット	R4.11.18 (金)	平日 R4.11.24 (木)	休日 R4.11.27 (日)	R4.12.13 (火)	6,000世帯 ・帯広市：4,075世帯 ・音更町：1,039世帯 ・芽室町：256世帯 ・幕別町：630世帯
		休日 R4.11.21 (金)			
第5ロット	R4.12.6 (火)	平日 R4.12.14 (水)	休日 R4.12.11 (日)	R4.12.23 (金)	9,000世帯 ・帯広市：6,413世帯 ・音更町：1,340世帯 ・芽室町：459世帯 ・幕別町：788世帯
		休日 R4.12.13 (火)			



**計35,014世帯**  
 ・帯広市：24,256世帯  
 ・音更町：5,539世帯  
 ・芽室町：1,957世帯  
 ・幕別町：3,262世帯

郵送調査は完了し、データチェック、入力作業を実施中

配布・回収数

▶ 回収目標達成状況

平日 ※住民基本台帳7月時点

市町名	人口	5歳以上人口	世帯数	目標回収世帯数 (5.64%)	配布世帯数	回収世帯数		回収率		目標達成率	
						郵送	Web	郵送	Web		合計
帯広市	164,480	158,995	90,112	5,090	24,256	3,565	1,588	14.7%	6.5%	21.2%	101.2%
音更町	43,207	41,824	20,613	1,170	5,539	902	357	16.3%	6.4%	22.7%	107.6%
芽室町	18,091	17,500	8,021	460	1,957	379	176	19.4%	9.0%	28.4%	120.7%
幕別町	24,597	23,648	11,871	670	3,262	568	222	17.4%	6.8%	24.2%	117.9%
合計	250,375	241,967	130,617	7,390	35,014	5,414	2,343	15.5%	6.7%	22.2%	105.0%

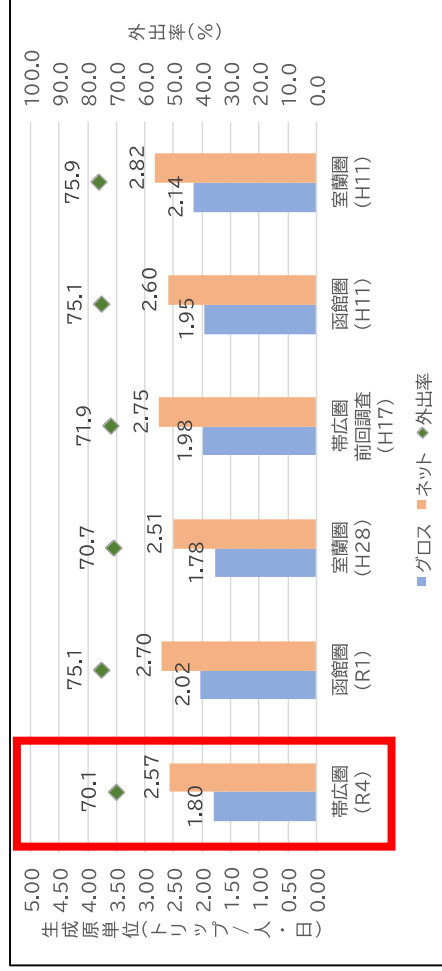
休日 ※住民基本台帳7月時点

市町名	人口	5歳以上人口	世帯数	目標回収世帯数 (2.89%)	配布世帯数	回収世帯数		回収率		目標達成率	
						郵送	Web	郵送	Web		合計
帯広市	164,480	158,995	90,112	2,610	12,122	1,775	857	14.6%	7.1%	21.7%	100.8%
音更町	43,207	41,824	20,613	600	2,763	429	198	15.5%	7.2%	22.7%	104.5%
芽室町	18,091	17,500	8,021	240	979	188	82	19.2%	8.4%	27.6%	112.5%
幕別町	24,597	23,648	11,871	350	1,619	276	112	17.0%	6.9%	24.0%	110.9%
合計	250,375	241,967	130,617	3,800	17,483	2,668	1,249	15.3%	7.1%	22.4%	103.1%

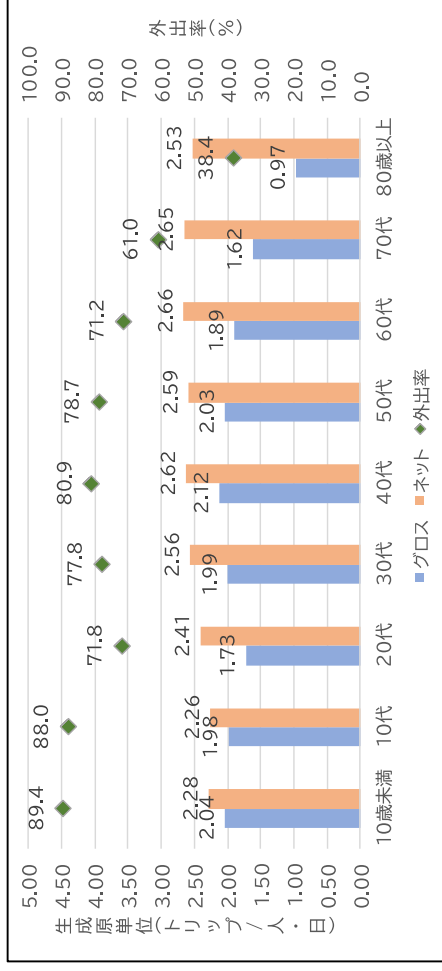
サンプル集計の速報

- ・帯広圏の外出率は、前回（平成17年）調査時よりも約2%減少している。
- ・また、道内他都市の直近事例である函館圏と比較すると約5%低い。
- ・年齢別の原単位をみると、80歳以上の高齢層の外出率が低い傾向が見られる。

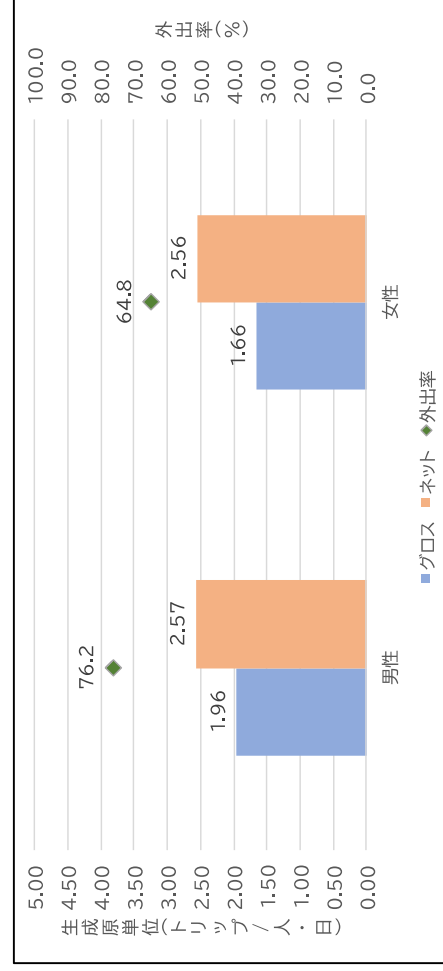
➤他都市・前回調査結果との比較



➤年代別の生成原単位



➤性別の生成原単位



【用語解説】

- 生成原単位  
ある地域に住居する人が行う1人1日当たりの平均トリップ数
- グロス・ネット  
1人・1日あたりの平均トリップ数。全人口に対する平均トリップ数をグロス、外出した人口に対する平均トリップ数をネットという。
- 外出率  
外出した人の全人口に対する割合のこと。値が高いほど「外出している人が多い」といえる。

個人意識調査【調査項目】

1. 公共交通の利用について

- ◆バスの利用状況
- ◆現在における公共交通の満足度、重要度
- ◆将来における公共交通に必要なサービス
- ◆将来における自動車運転意向

2. 買い物の状況について

- ◆普段の買い物場所、交通手段、コロナ前・現在の頻度
- ◆都心部における買い物動向及び変化

3. 通院の状況について

- ◆通院場所、交通手段、コロナ前・現在の頻度

4. 通勤・通学の状況について

- ◆通勤・通学場所、交通手段、コロナ前・現在の頻度

5. 私用の状況について

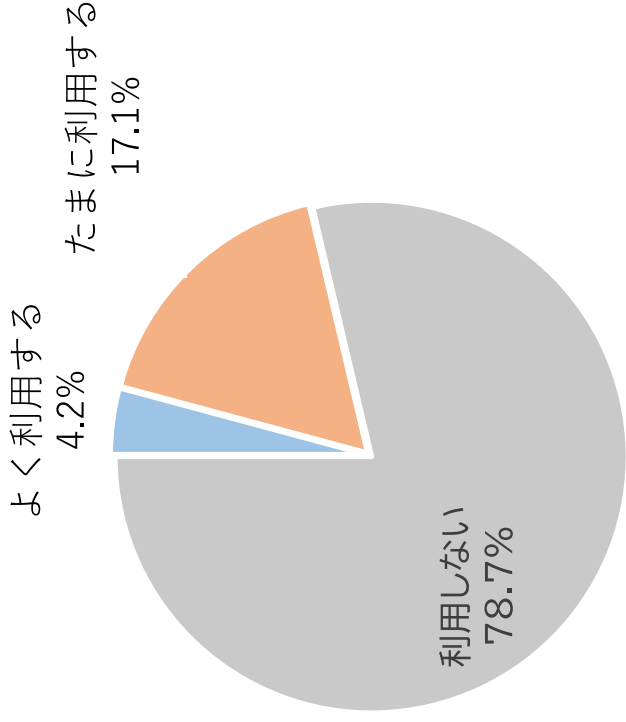
- ◆私用場所、交通手段、コロナ前・現在の頻度

6. 自由回答

※結果整理中

個人意識調査の速報【公共交通の利用について】

普段のバスの利用状況について

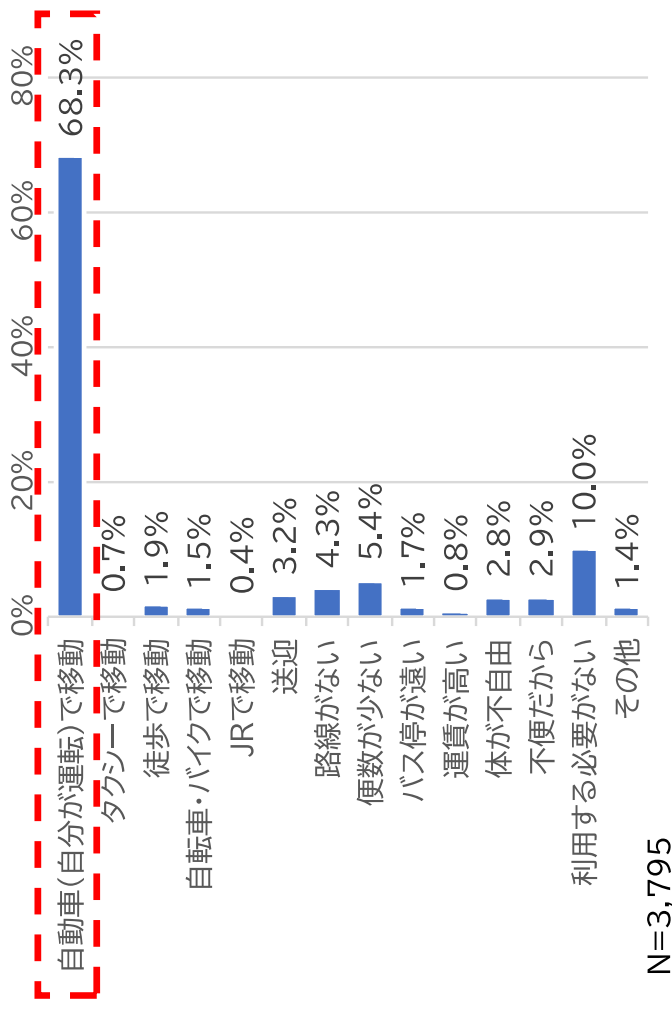


N=6,107

図1 普段のバス利用状況

・普段のバス利用状況については、「利用しない」が約8割を占めており、次いで「たまに利用する」が約2割を占めている。

バスを利用しない理由



N=3,795

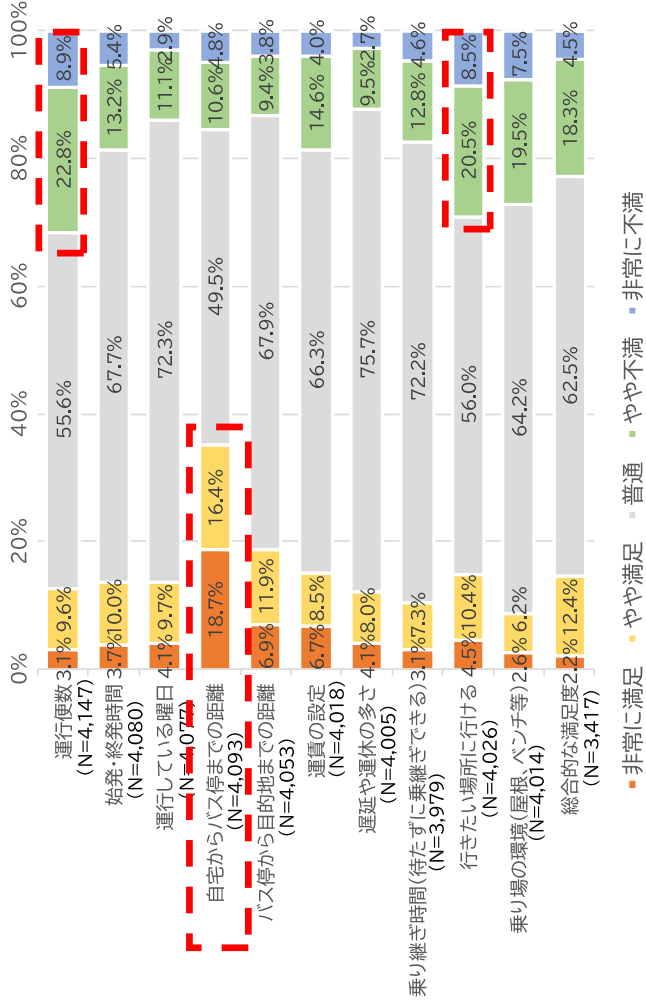
図2 バスを利用しない理由

・バスを利用しない理由については、「自動車(自分が運転)で移動」が約7割を占めている。



個人意識調査の速報【公共交通の利用について】

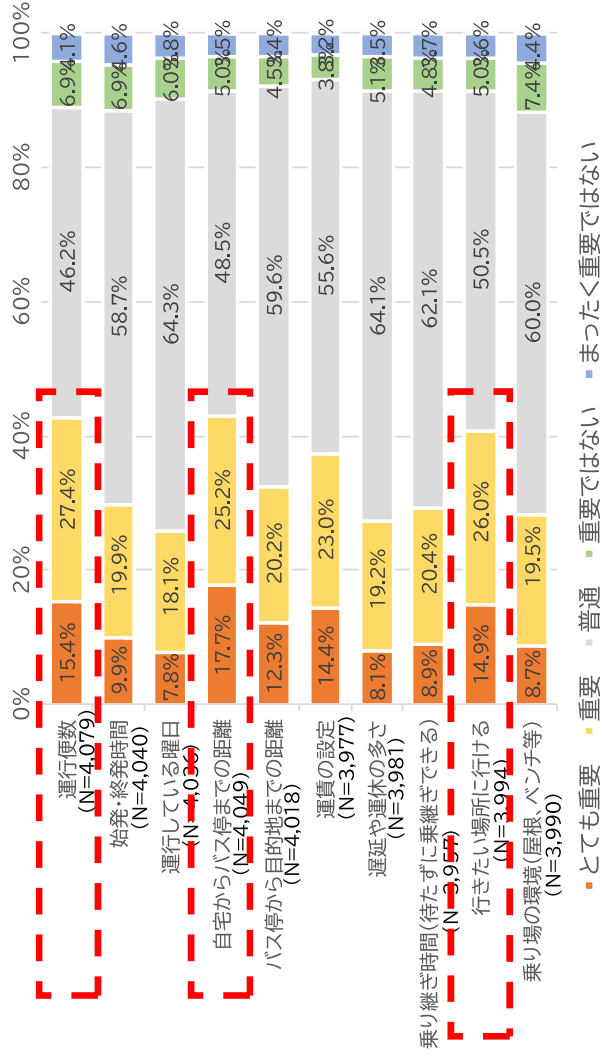
現状のバスサービスの満足度



図ーバスサービスの満足度

- ・現状のバスサービスでは、「自宅からバス停までの距離」の満足度が最も高い。
- ・一方で、「運行便数」や「行きたい場所に行ける」の満足度が低い。

現状のバスサービスの重要度

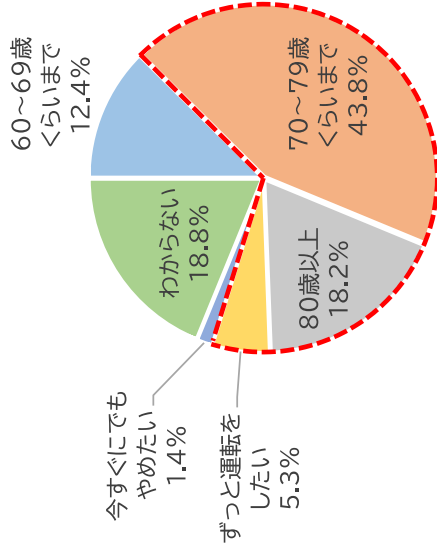


図ーバスサービスの重要度

- ・現状のバスサービスで重要度の高いサービスは、「運行便数」や「自宅からバス停までの距離」「行きたい場所に行ける」ことが多く挙げられている。

個人意識調査の速報【公共交通の利用について】

将来の運転意向

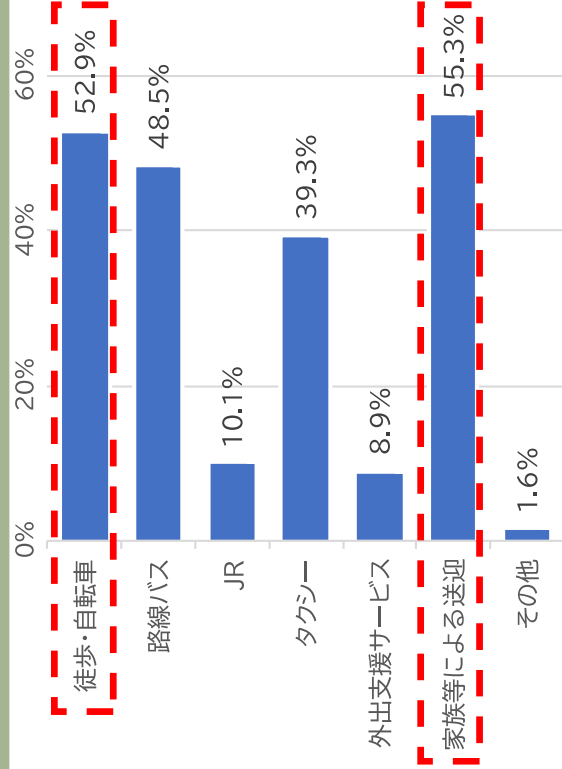


67.3%

N=5,141

図一 将来の運転意向

現在の主な移動手段【免許非保有者】



N=910

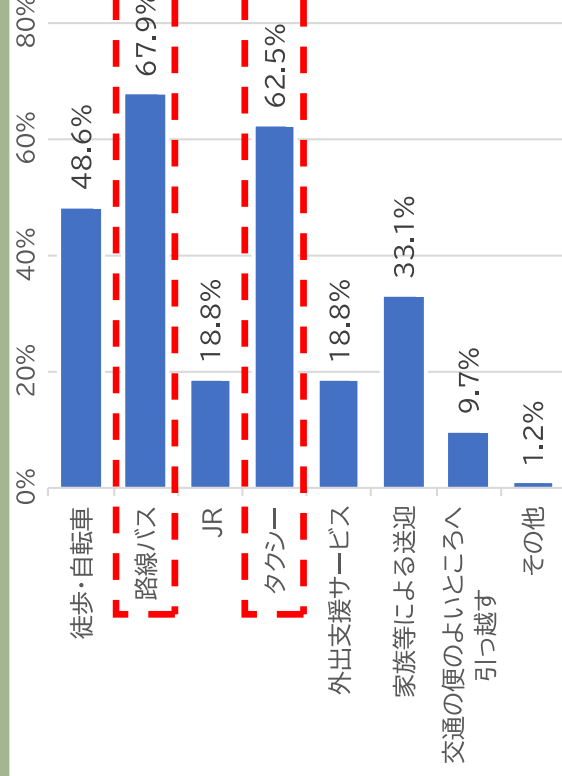
図一 現在の主な移動手段（複数回答）

・ 将来の自動車運転意向は、「70～79歳くらいまで」「80歳以上」「ずっと運転をしたい」が約7割を占めている。

・ 運転免許非保有者の現在の主な移動手段は、「家族による送迎」「徒歩・自転車」のほか、「路線バス」や「タクシー」といった公共交通の利用も多い。

・ 運転免許保有者が運転できなくなった場合の移動手段は、「路線バス」が最も多く、次いで「タクシー」が多くなっている。

運転が出来なくなった場合の移動手段【免許保有者】

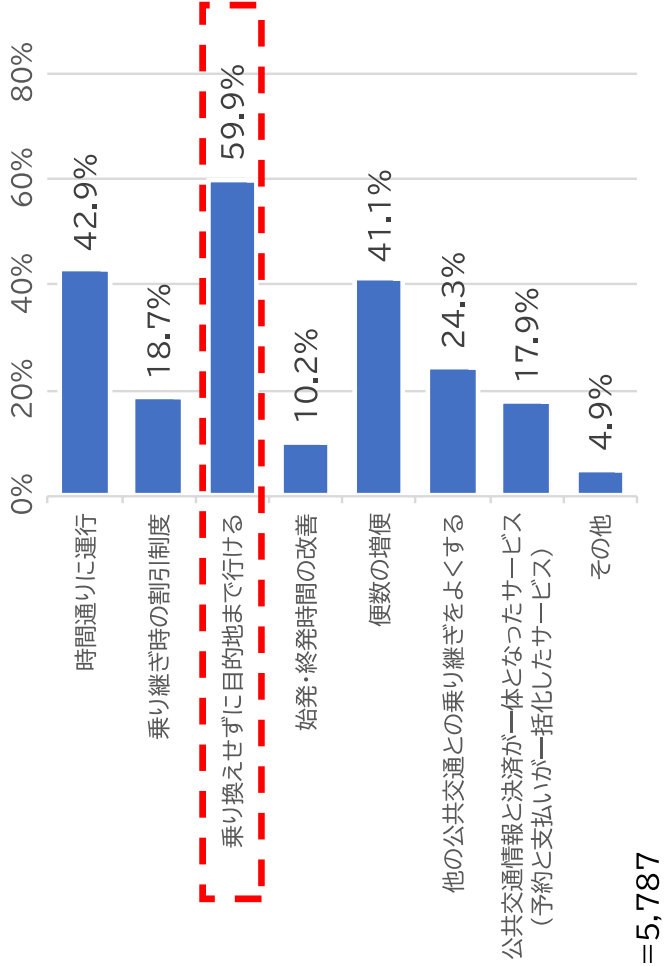


N=4,062

図一 運転が出来なくなった場合の移動手段（複数回答）

個人意識調査の速報【公共交通の利用について】

将来に必要なサービス（バス）について

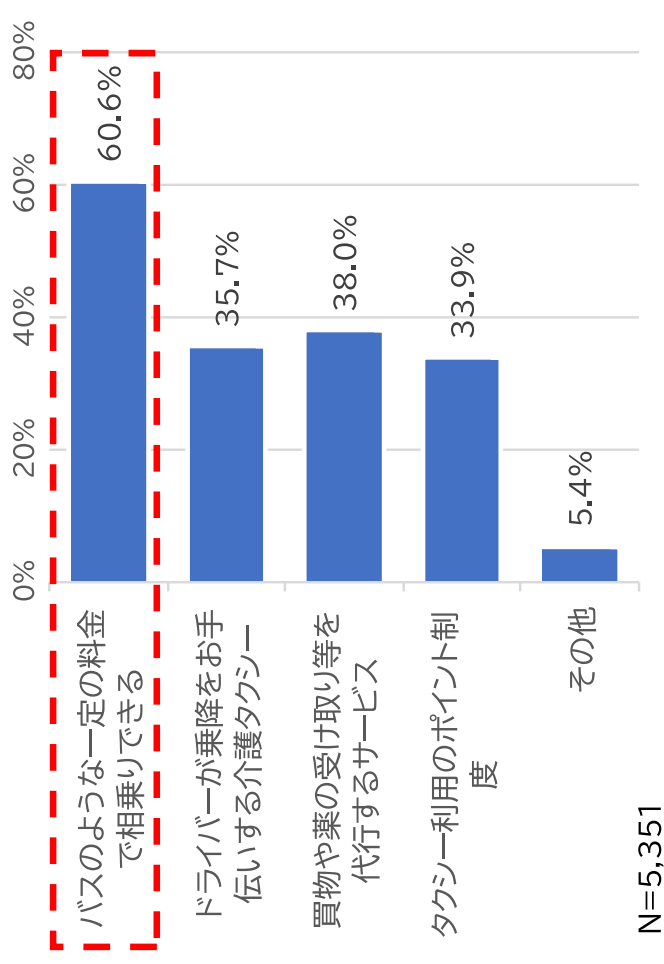


N=5,787

図ー将来に必要なサービス バスについて（複数回答）

- ・バスにおける将来に必要なサービスとしては、「乗換えせずに目的地まで行ける」が最も多く、次いで「時間通りに運行」「便数の増便」が多くなっている。

将来に必要なサービス（タクシー）について



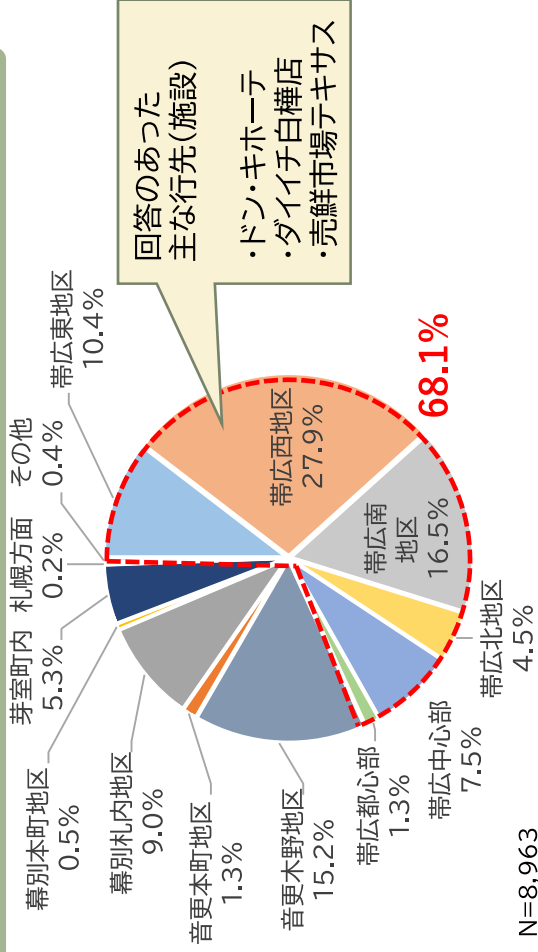
N=5,351

図ー将来に必要なサービス タクシーについて（複数回答）

- ・タクシーにおける将来に必要なサービスとして、「バスのような一定の料金で相乗りできる」が最も多くなっている。

個人意識調査の速報【買い物物の状況について】

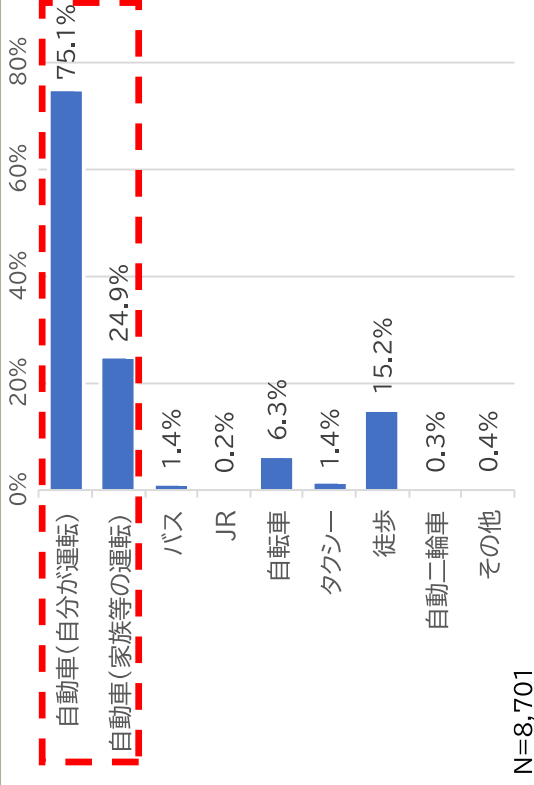
買い物する場所【食料品・日用雑貨】



図一 買い物する場所【食料品・日用雑貨】

・買い物する場所は、帯広市内が約7割を占めており、「帯広西地区」が最も多い。

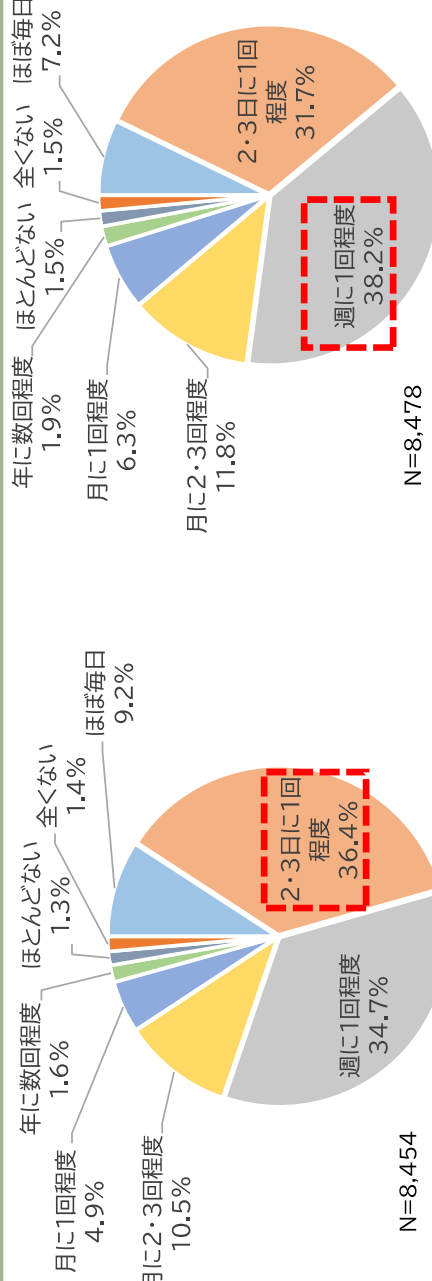
交通手段【食料品・日用雑貨】



図一 交通手段【食料品・日用雑貨】（複数回答）

・交通手段は、「自動車（自分が運転）（家族等の運転）」の利用が多い。

コロナ前・現在の買い物頻度【食料品・日用雑貨】



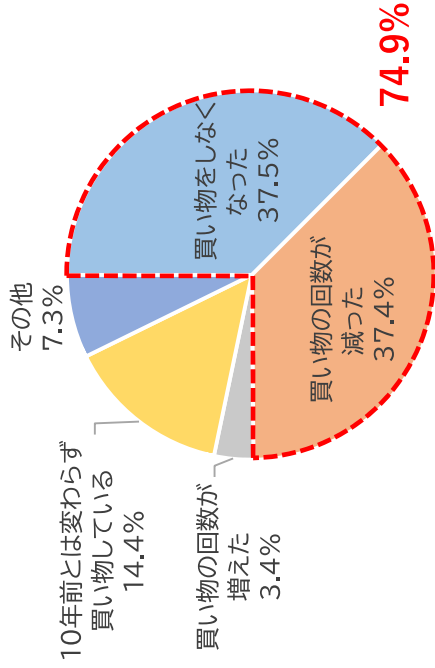
図一 コロナ前の買い物頻度【食料品・日用雑貨】

図一 現在の買い物頻度【食料品・日用雑貨】

・コロナ前と現在の買い物頻度を比較すると、コロナ前は「2・3日に1回程度」が最も多かったが、現在は「週に1回程度」が最も多い。

個人意識調査の速報【買い物状況について】

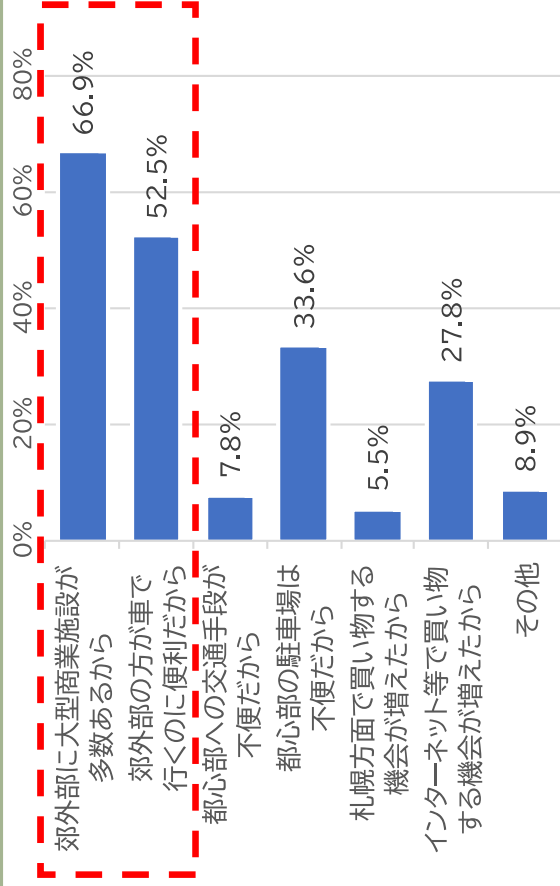
都心部での買い物頻度の変化



N=6,004

図一 都心部での買い物頻度の変化

都心部での買い物の頻度が減った理由

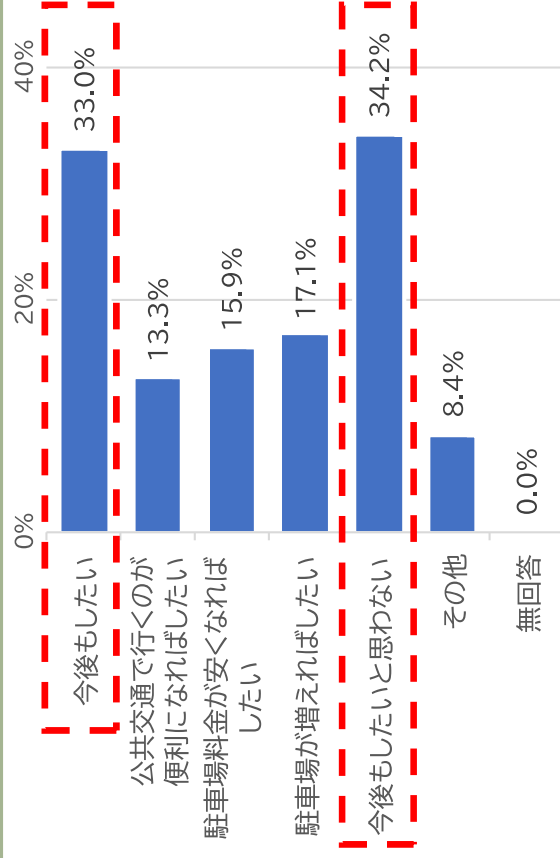


N=4,440

図一 都心部での買い物の頻度が減った理由 (複数回答)

- ・ 都心部での買い物頻度の変化は、「買い物をしなくなった」「買い物の回数が減った」が約7割を占めている。
- ・ 都心部での買い物頻度が減った理由として、「郊外部に大型商業施設が多数あるから」「郊外部の方に車で行くの便利だから」が多くを占めている。
- ・ 今後の帯広都心部での買い物意向は、「今後もしたいと思わない」と「今後もしたい」がほぼ同数となっている。

今後の帯広都心部での買い物意向

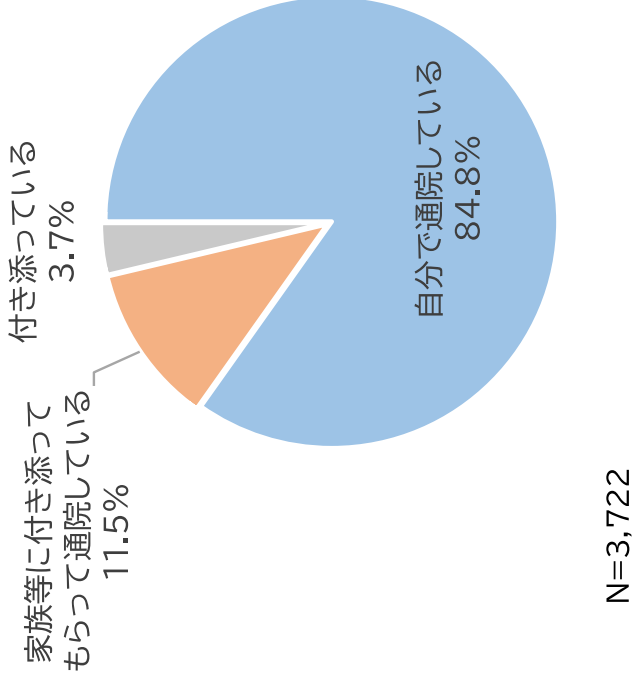


N=5,905

図一 今後の帯広都心部での買い物意向 (複数回答)

個人意識調査の速報【通院の状況について】

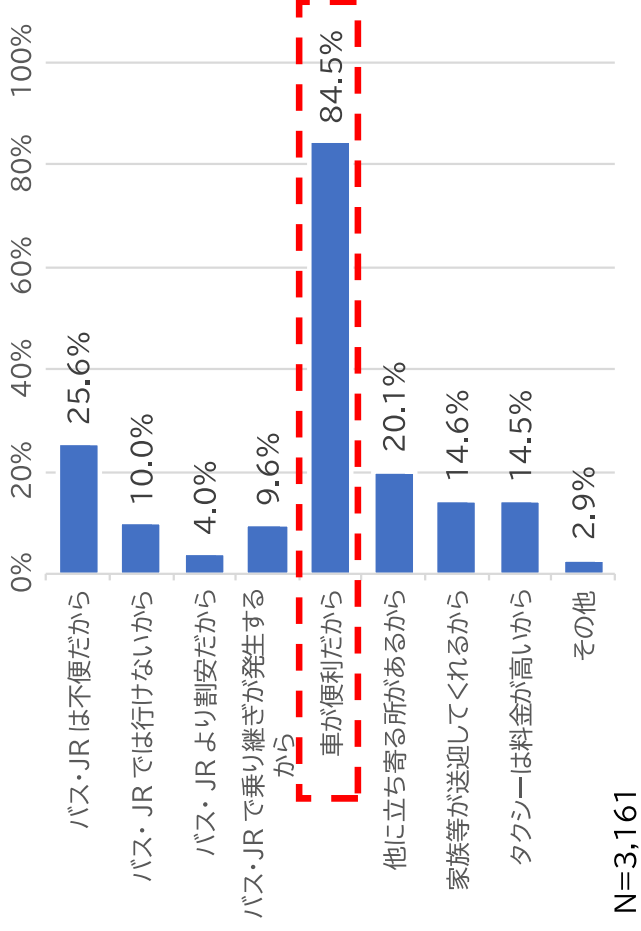
現在の通院状況について



図一現在の通院状況

・現在の通院状況については、「自分で通院している」が約8割を占めており、次いで「家族等に付き添ってもらって通院している」が約1割となっている。

通院に自動車を利用する理由



図一通院に自動車を利用する理由（複数回答）

・通院に自動車を利用する理由として、「車が便利だから」が最も多く、次いで「バス・JRは不便だから」が多くなっている。

個人意識調査の速報【通院の状況について】

通院する場所

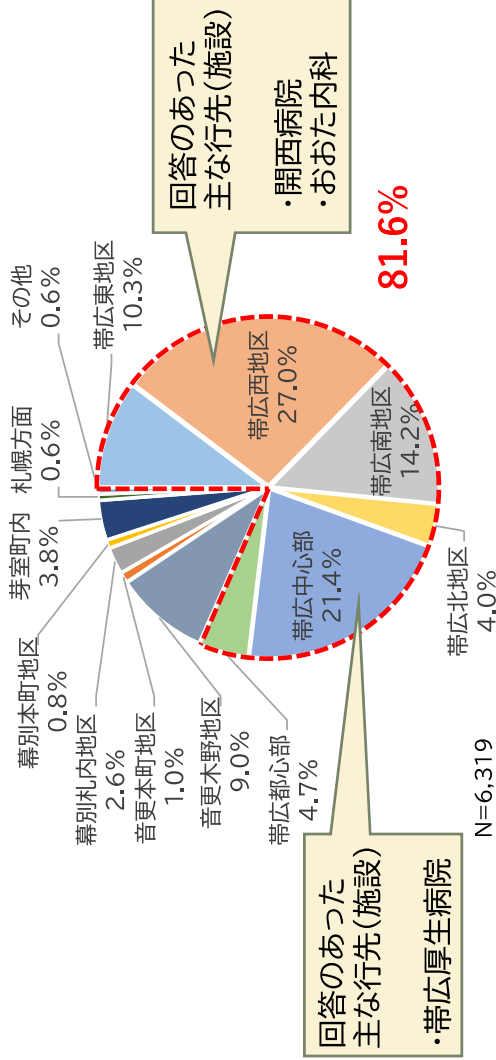


図1-通院する場所

・通院する場所は、帯広市内が約8割を占めており、「帯広西地区」が最も多く、次いで「帯広中心部」が多い。

交通手段

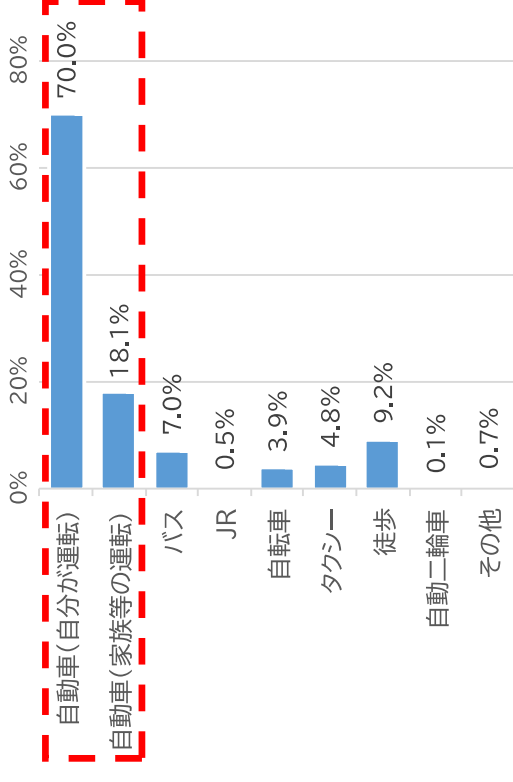


図1-交通手段 (複数回答)

・交通手段は、「自動車(自分が運転) (家族等の運転)」の利用が多い。

コロナ前・現在の通院頻度

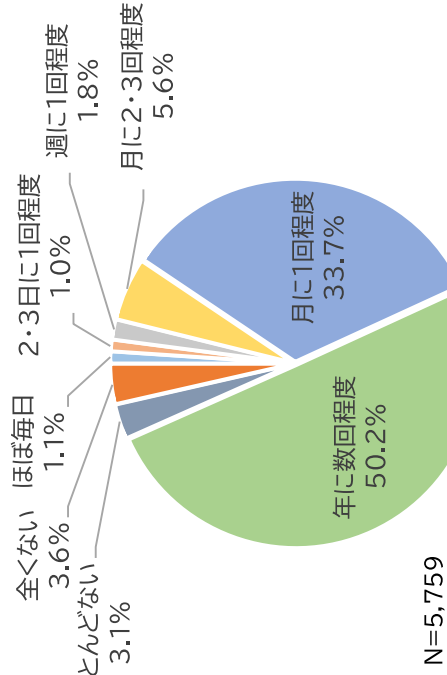


図1-コロナ前の通院頻度

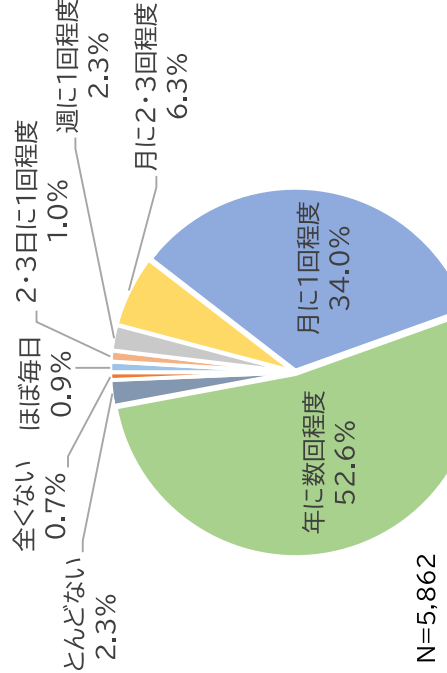
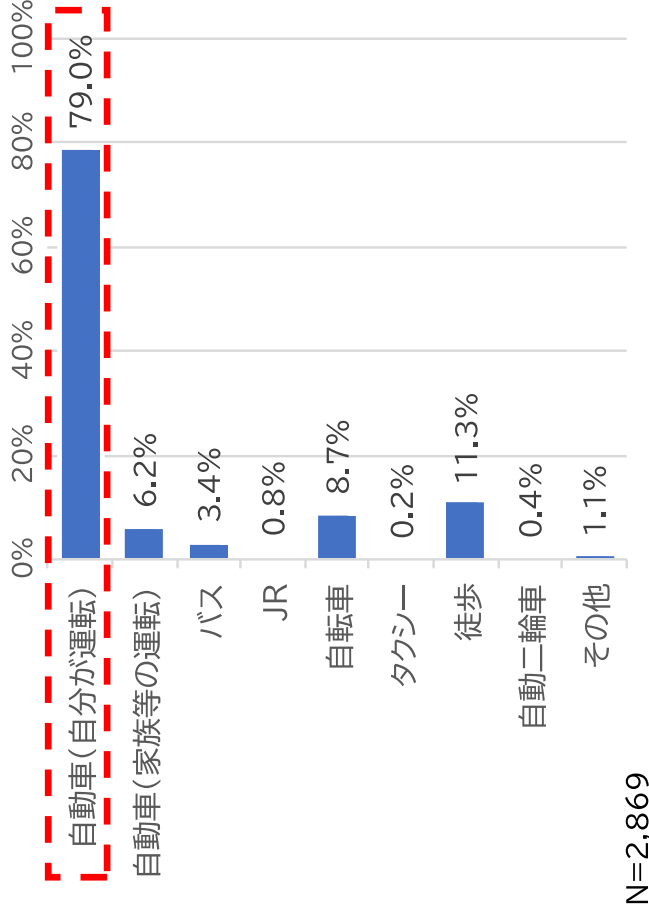


図1-現在の通院頻度

・コロナ前と現在の通院頻度を比較すると、コロナ前と現在で大きな変化はない。

個人意識調査の速報【通勤・通学の状況について】

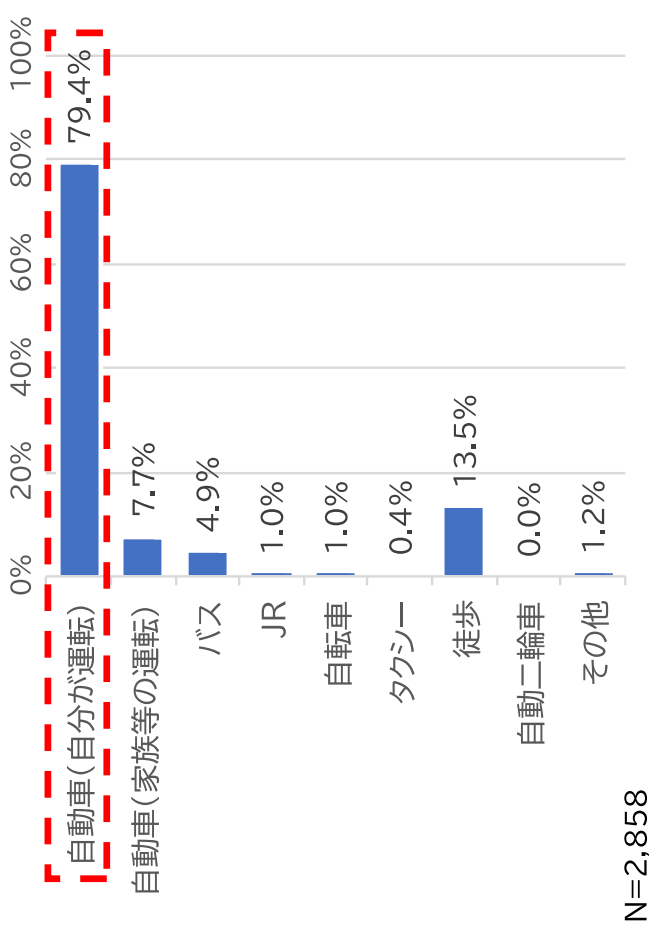
夏期の交通手段



図一夏期の交通手段（複数回答）

- ・「自動車（自分が運転）」が約8割で最も多く、次いで「徒歩」が約1割となっている。

冬期の交通手段



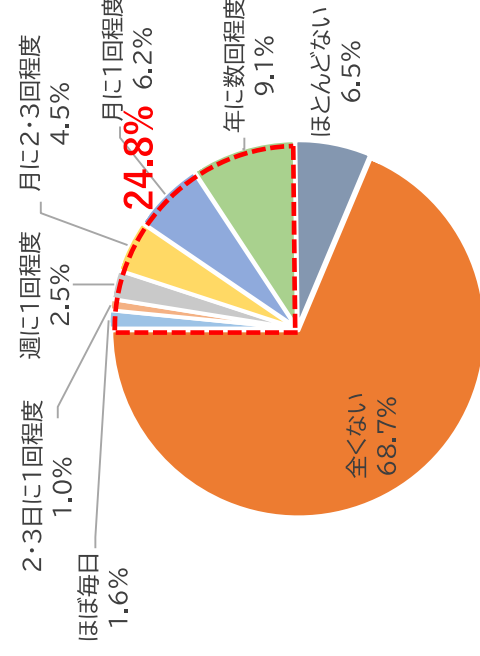
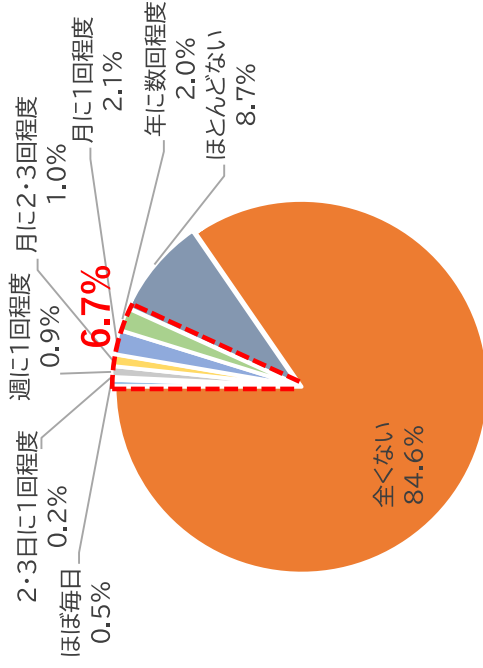
図一冬期の交通手段（複数回答）

- ・「自動車（自分が運転）」が約8割で最も多く、次いで「徒歩」が約1割となっている。
- ・夏期と比べると「徒歩」と「バス」の割合が増えている。



個人意識調査の速報【通勤・通学の状況について】

コロナ前・現在のオンライン会議の頻度



・オンライン会議の頻度は、コロナ前と比較して約2割増加している。

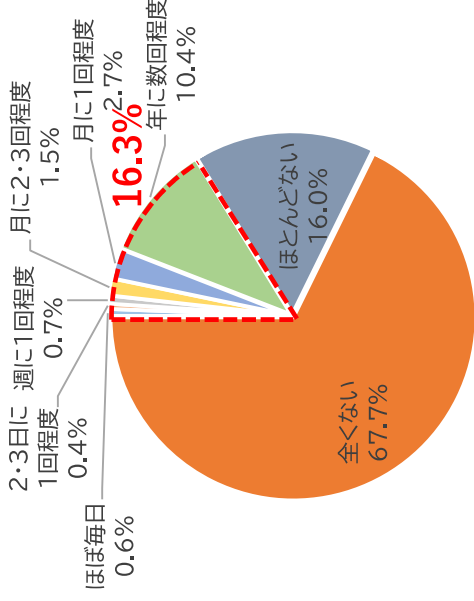
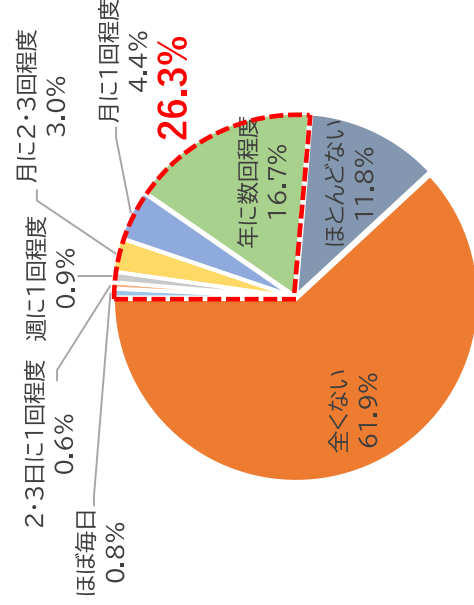
N=2,485

図ーコロナ前のオンライン会議の頻度

N=2,484

図ー現在のオンライン会議の頻度

コロナ前・現在の出張の頻度



・出張の頻度は、コロナ前と比較して約1割減少している。

N=2,495

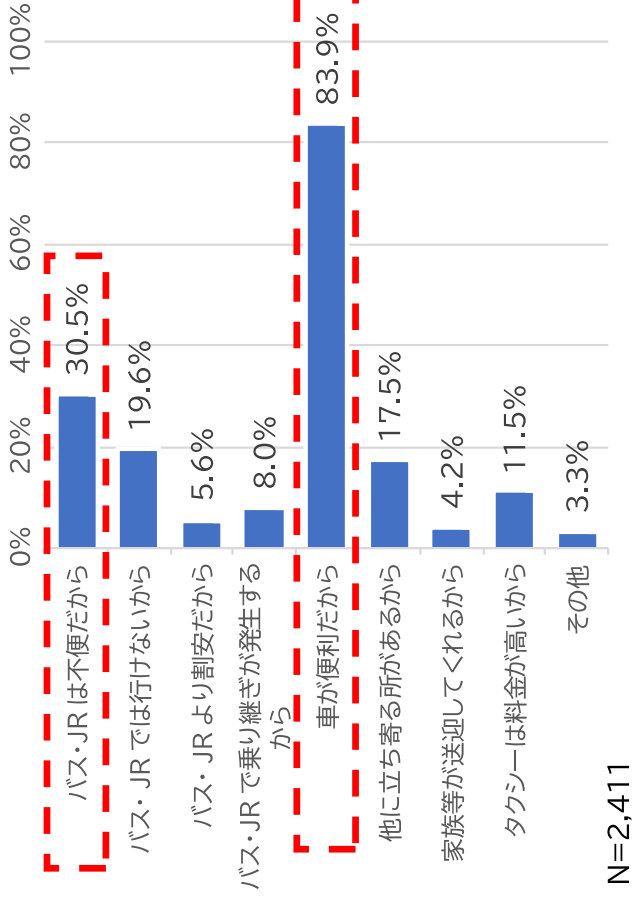
図ーコロナ前の出張の頻度

N=2,483

図ー現在の出張の頻度

個人意識調査の速報【通勤・通学の状況について】

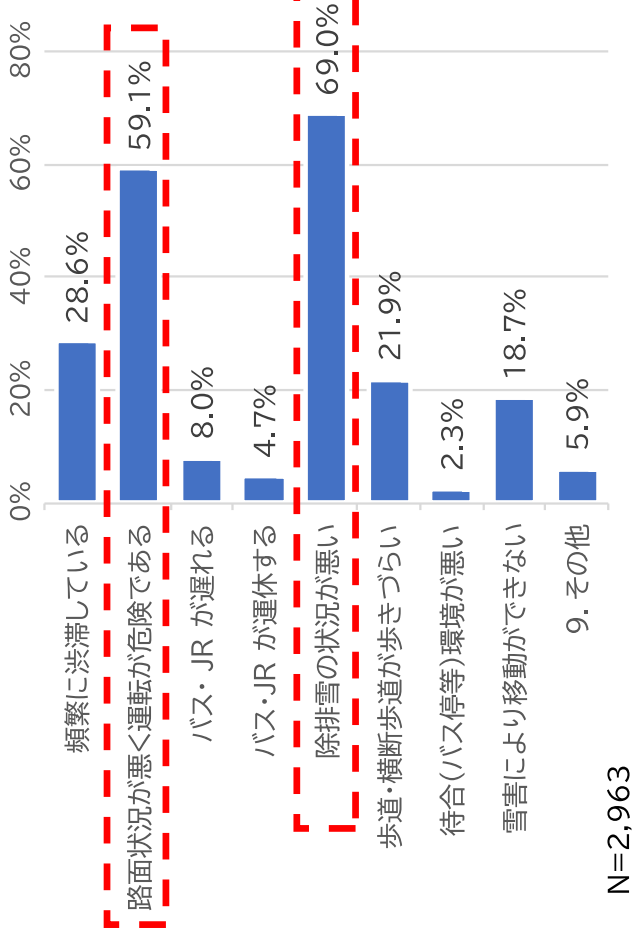
通勤・通学で自動車を利用する理由



図一 通勤・通学で自動車を利用する理由（複数回答）

・通勤・通学で自動車を利用する理由は、「車が便利だから」が最も多く、次いで「バス・JRは不便だから」が多くなっている。

冬期の通勤・通学についての不満

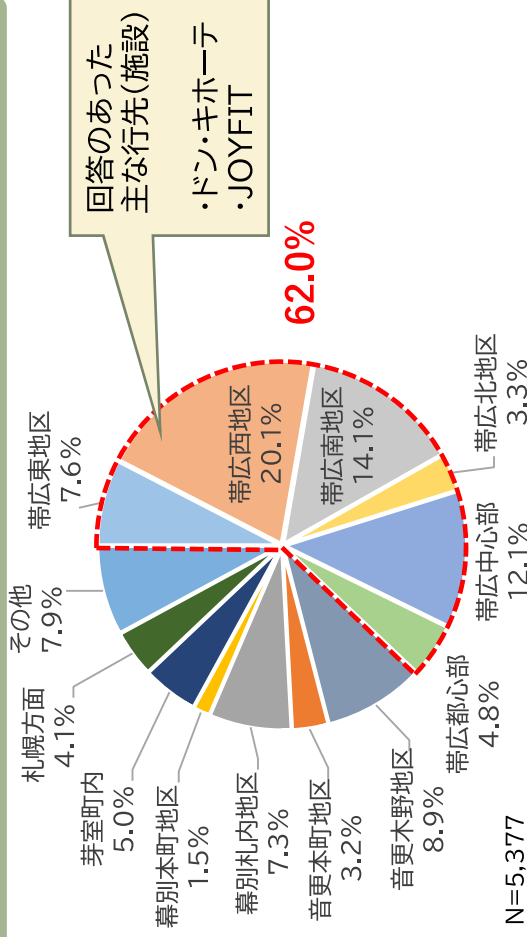


図一 冬期の通勤・通学についての不満（複数回答）

・冬期における通勤・通学についての不満は、「除排雪の状況が悪い」や「路面状況が悪く運転が危険である」が多くなっている。

個人意識調査の速報【私用等お出かけの状況について】

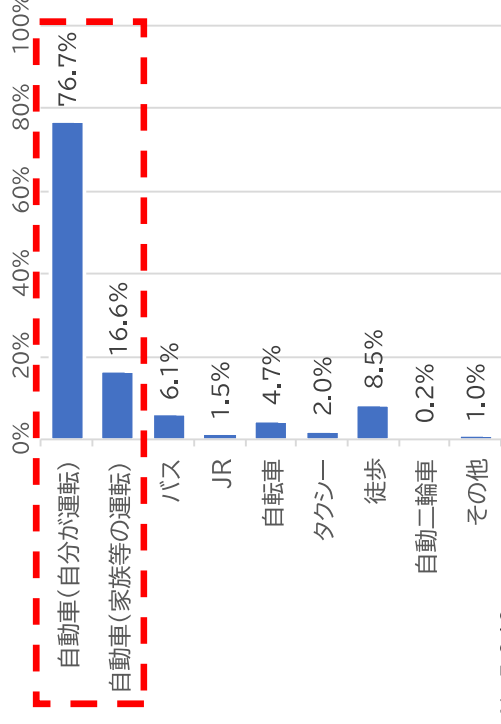
私用する場所



図一私用する場所

・私用の場所は、帯広市内が約6割を占めており、「帯広西地区」が最も多い。

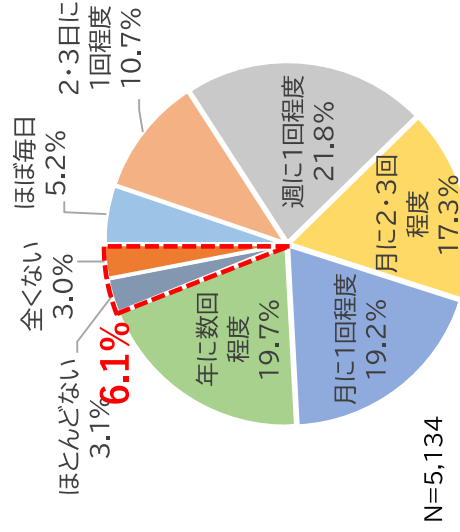
交通手段



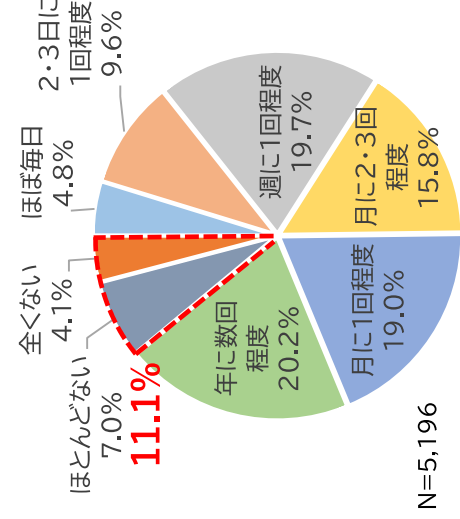
図一交通手段(複数回答)

・交通手段は、「自動車(自分が運転) (家族等の運転)」の利用が多い。

コロナ前・現在の私用頻度



図一コロナ前の私用頻度

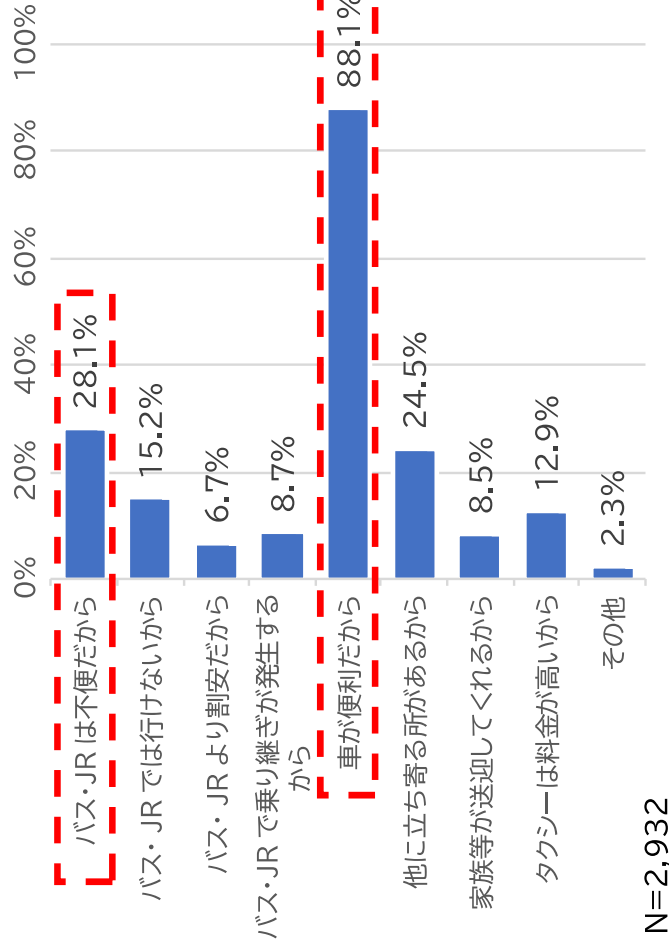


図一現在の私用頻度

・私用頻度は、コロナ前と比較して「ほとんどない」「全くない」の割合が若干増加している。

個人意識調査の速報【私用等お出かけの状況について】

私用で自動車を利用する理由



・「車が便利だから」が最も多く、次いで「バス・JRは不便だから」が多くなっている。

図－私用で自動車を利用する理由（複数回答）

## 今後の分析イメージ

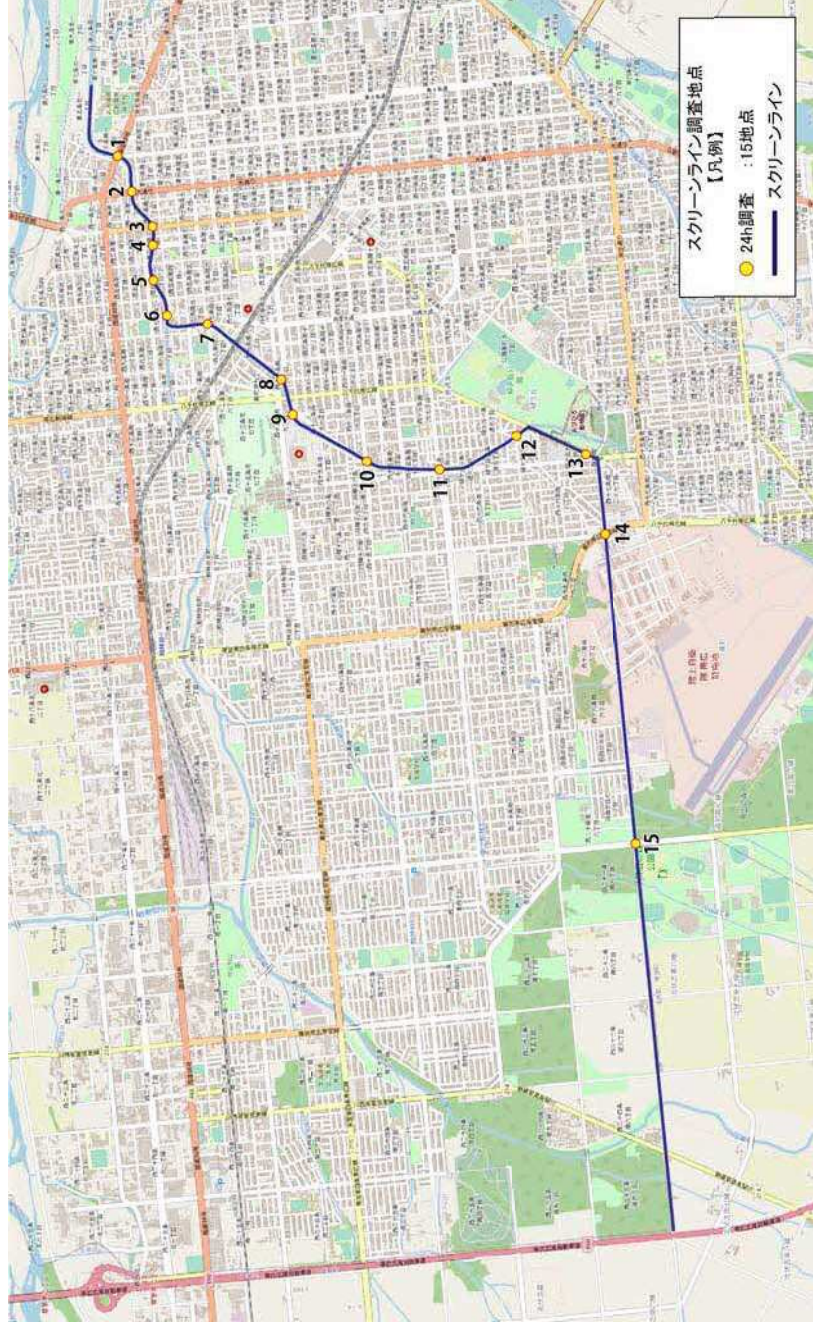
- ・ H17年調査との比較分析
- ・ 個人意識調査と実データ（公共交通データ・交通量データ）との比較分析
- ・ コロナ前との移動変化分析
- ・ 地区・属性別にクロス集計を行い、詳細な傾向分析や課題抽出を実施

補完調査 概要

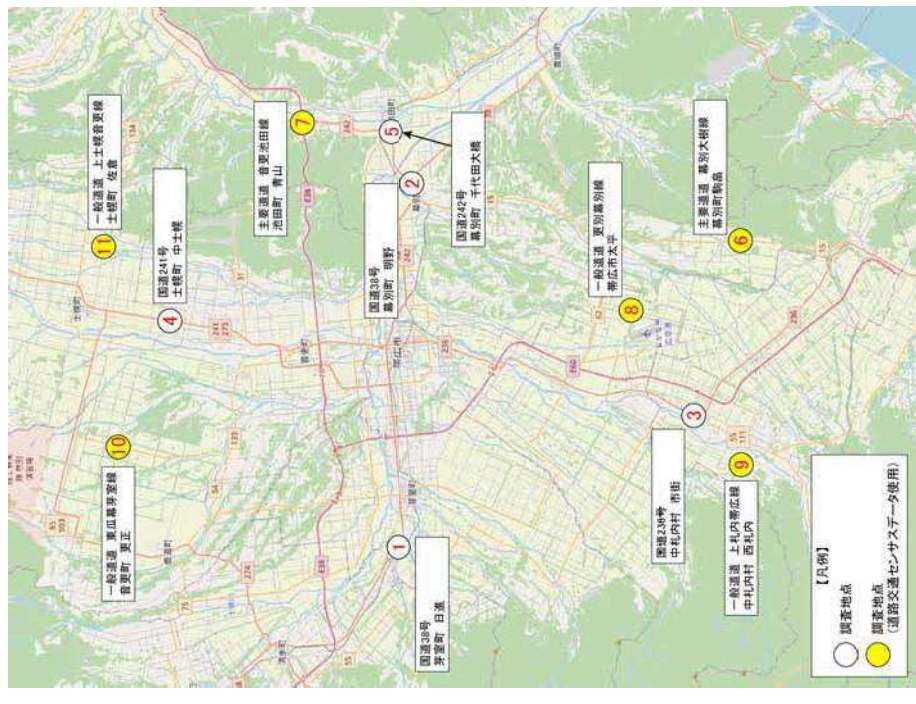
スクリーンライン調査 ⇒ 15箇所を対象 (平日、24時間)  
 コードンライン調査 ⇒ 5箇所を対象 (平日、12時間)

完了

【スクリーンライン調査地点図】



【コードンライン調査地点図】



スクリーンライン調査

■ 調査の目的

調査結果の精度検証のため、スクリーンラインを設け、自動車交通量を観測。

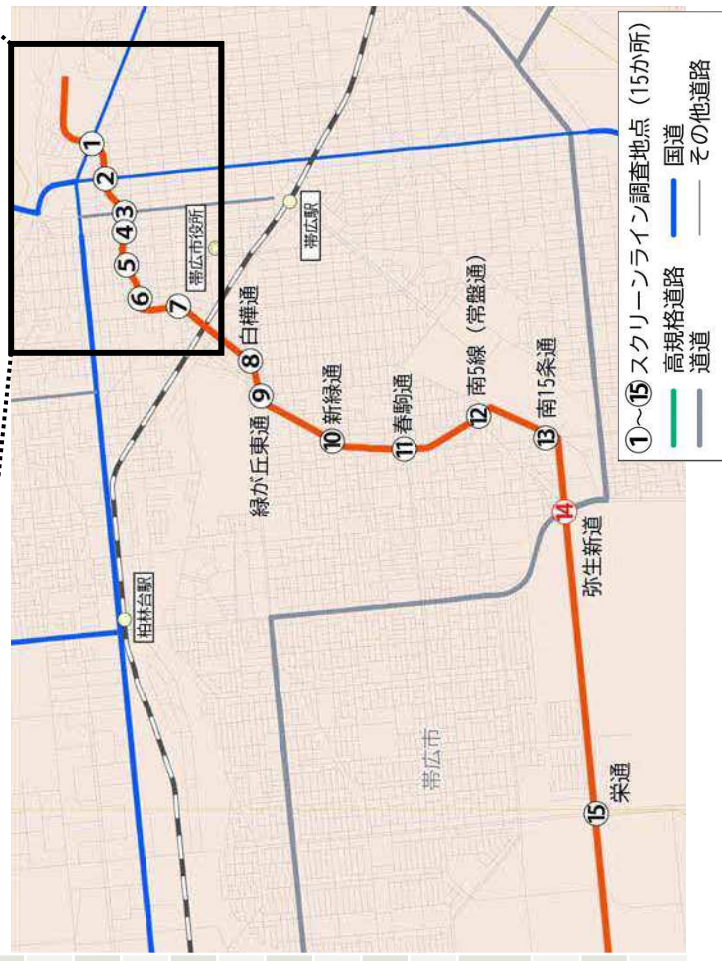
■ 調査内容

調査日：令和4年10月19日（水）～20日（木）午前3時～翌午前3時

調査対象：歩行者類・自転車類・動力付二輪車類・

自動車4種（乗用者・バス・小型貨物・普通貨物）

No.	路線名	地点	断面交通量 (台/日)		増減率 (R4/H17)
			前回調査 (H17)	本調査 (R4)	
①	国道38号	鎮橋	28,124	24,163	0.86
②	国道236号	大通り橋	19,162	17,042	0.89
③	西2条通	西2条橋	7,804	5,835	0.75
④	西3条通	西3条橋	8,456	5,969	0.71
⑤	西5条通	西5条橋	11,585	8,427	0.73
⑥	西7条通	西7条橋	10,591	6,662	0.63
⑦	南5丁目通	帯校橋	8,339	7,247	0.87
⑧	白樺通	蹄橋	22,091	14,084	0.64
⑨	緑が丘東通	西13条橋	4,977	2,371	0.48
⑩	新緑通	駒追橋	15,054	11,995	0.80
⑪	春駒通	春駒橋	13,052	10,808	0.83
⑫	南5線（常盤通）	緑新橋	6,984	5,070	0.73
⑬	南15条通	緑が丘9丁目（自動車学校西側断面）	9,744	6,535	0.67
⑭	弥生新道	南6線（ゴルフセンター前断面）	14,755	22,066	1.50
⑮	栄通	西20南6（交差点南断面）	15,110	11,251	0.74
		合計	190,828	159,525	0.81



・前回調査（H17）と比較して、15地点のうち14地点で交通量が減少し、弥生新道については大幅に増加。

図－スクリーンライン調査地点

コードンライン調査

■調査の目的

圏域外の交通流動を把握するため、圏域境界線の国道・道道で自動車交通量を観測。

■調査内容

調査日：令和4年10月19日（水）午前7時～午後19時

調査対象：歩行者類・自転車類・動力付二輪車類・

自動車4種（乗用者・バス・小型貨物・普通貨物）

No.	路線名（調査地点）	断面交通量		増減率 (R4/H17)
		前回調査 (H17)	本調査 (R4)	
①	国道38号（芽室町日進）	8,194（実査）	7,403（実査）	0.90
②	国道38号（幕別町明野）	5,519（実査）	3,544（実査）	0.64
③	国道236号（中札内村市街）	6,445（実査）	3,693（実査）	0.57
④	国道241号（士幌町中士幌）	6,729（実査）	6,015（実査）	0.89
⑤	国道242号（幕別町千代田大橋）	4,803（実査）	4,729（実査）	0.98
⑥	主要道道幕別大樹線	823（H17センサス）	1,065（H27センサス）	1.29
⑦	主要道道音更池田線	705（H17センサス）	886（H27センサス）	1.26
⑧	一般道道更別幕別線	434（H17センサス）	401（H27センサス）	0.92
⑨	一般道道上札内帯広線	609（H17センサス）	326（H27センサス）	0.54
⑩	主要道道東瓜幕芽室線	334（H17センサス）	303（H27センサス）	0.91
⑪	一般道道上士幌音更線	797（H17センサス）	1,125（H27センサス）	1.41
⑫	帯広広尾自動車道	-	5,685（H27センサス）	-
	合計	35,392	35,175	0.99

※平成27年度道路路交通センサス実測値については、最新の令和3年度道路路交通センサス実測値が公表次第、置き換えて評価を実施する予定。

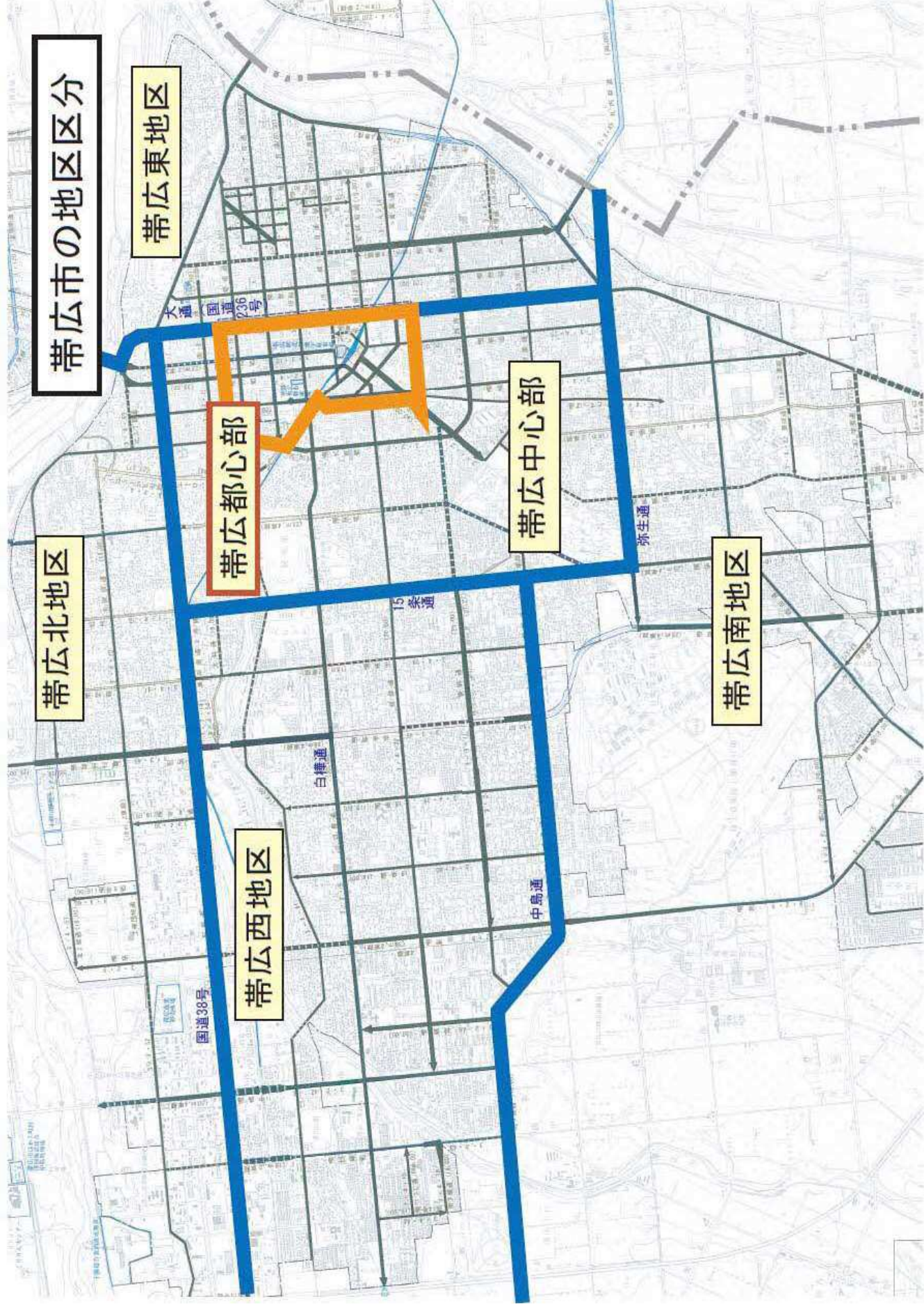
・前回調査（H17）と比較して、道道幕別大樹線や道道音更池田線、道道上士幌音更線からの流入が増加している。



図-コードンライン調査地点



帯広市の地区区分



# 回収率向上の取り組み

## ▶各市町の広報誌に掲載



## ▶特設HPを開設



## ▶各市町のHPに掲載



## ▶十勝毎日新聞による広報

媒体	配布日
電子版	R4.10.12 (水)
新聞紙面	R4.10.23 (日)

## ▶Twitterによる広報

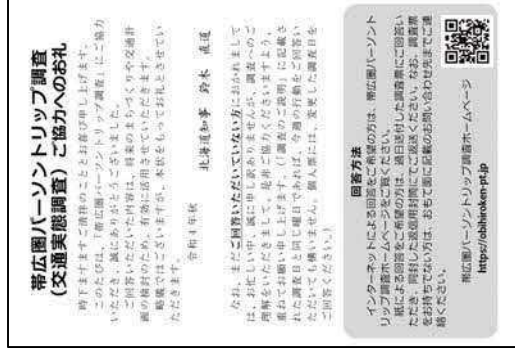


## ▶公共施設等のポスター掲示



帯広市役所

## ▶督促はがき



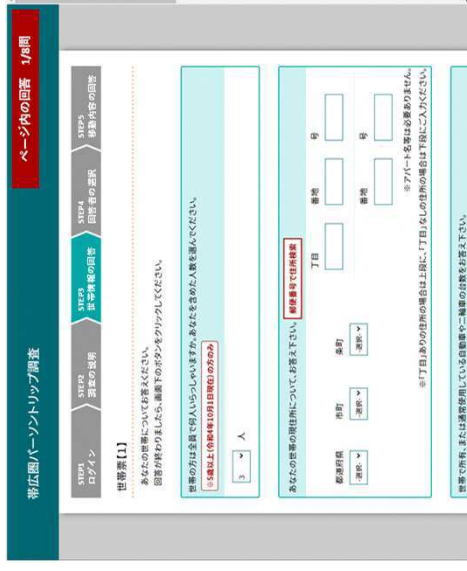
## ▶インターネットによる回答も可能



## ▶回答者に抽選でプリペイドカードをプレゼント

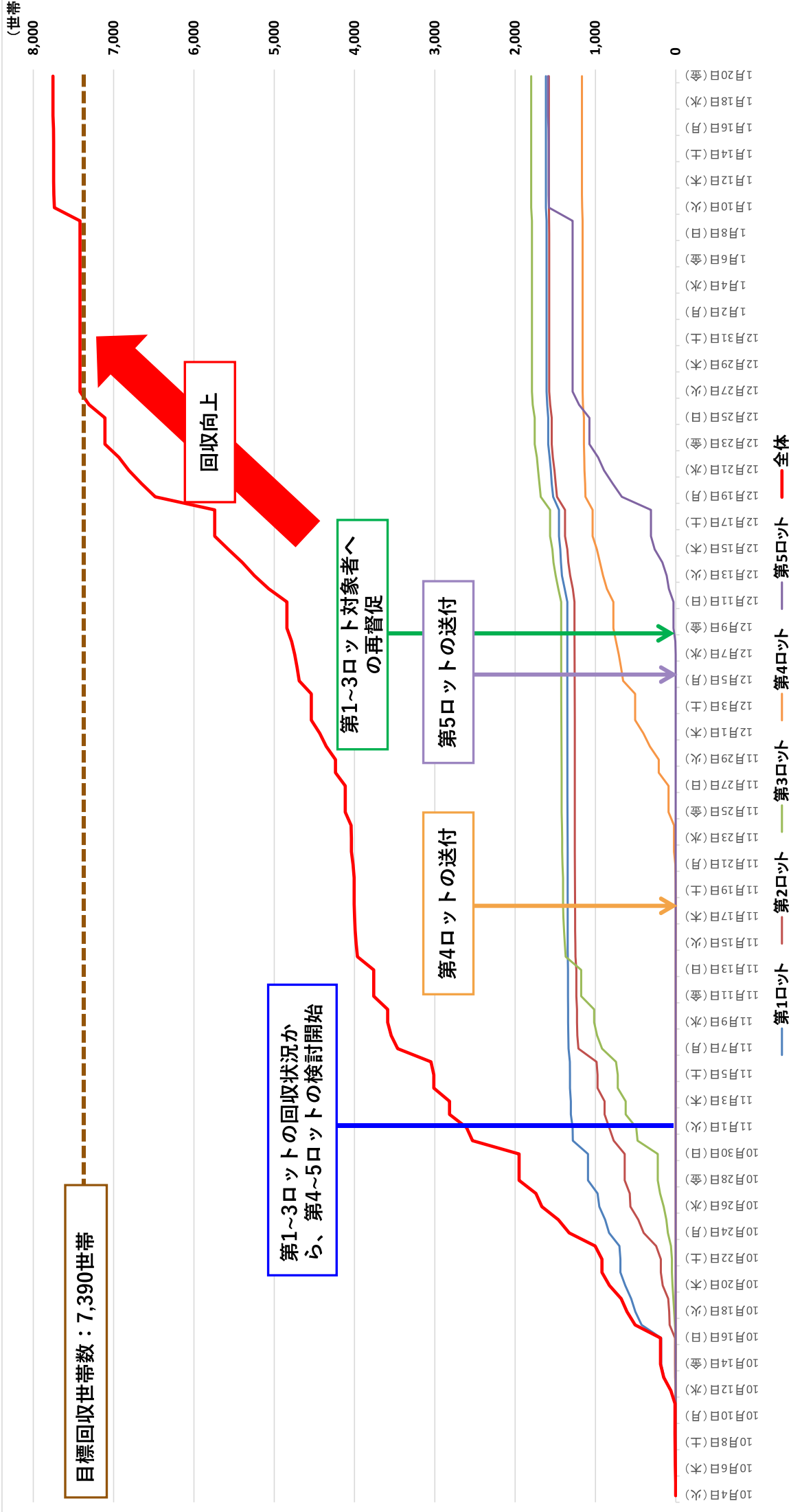


## ▶WEB回答における回答進捗の表示



## ●何問回答したか進捗の表示

### 回収状況



## 実施本部の電話対応

## ➤ 電話対応の様子

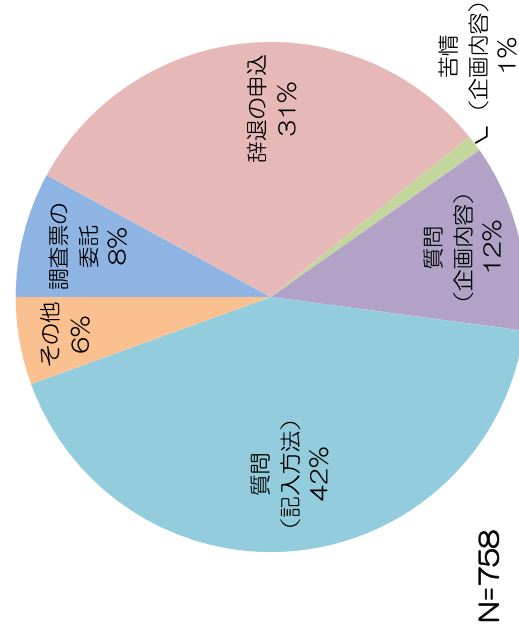


## ➤ 電話対応の具体的内容

## 【質問の具体的内容（抜粋）】

- 何を目的としているのか、市役所も把握しているのか、帯広市民全員に送っているのか
- どういう風に使われているのか。
- 交通実態調査って何なのか。
- 車を持っていないが記入するのか。
- 世帯は別だが同居している場合はどうしたらいいのか。

## ➤ 電話対応内容の内訳



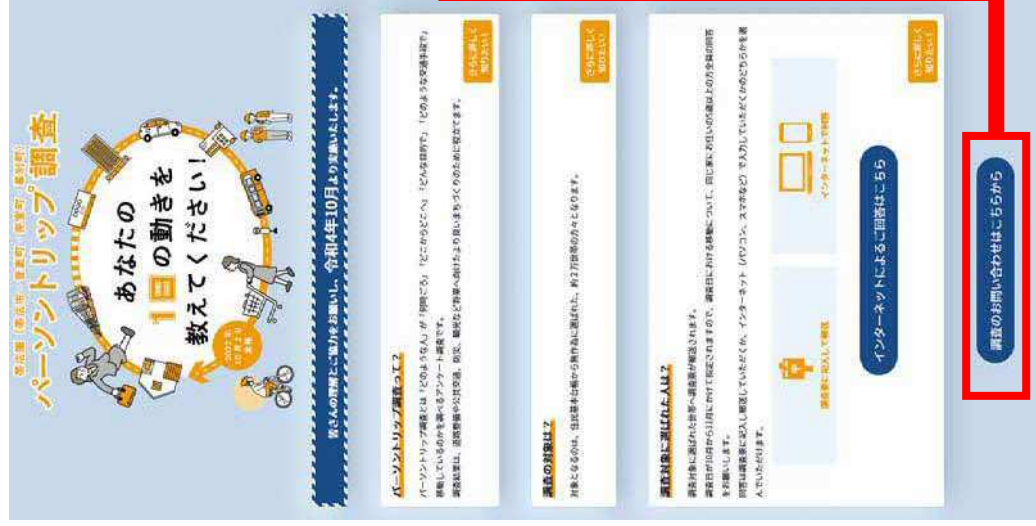
## 【苦情の具体的内容（抜粋）】

- 数年前に免許返納し、外出もほとんどしていない。どうして自分のような人に調査票が来たのか。
- 個人情報を書くのが嫌だ。
- 調査内容がよくわからないし、電話もなかなか繋がらない。
- 2時間もやったかわけがわからない。国勢調査の方がもっとわかりやすい。
- 95歳のところにこんなものを送り付けて税金の無駄遣いだ。
- 用紙を見たかわかりにくくインターネットで回答したが、こちらの方も入力か複雑かつ面倒だった。これではせっかく緻密な調査が求められているのにどれだけの人が正確に回答できるか疑問に思う。今後もう少し工夫してほしい。

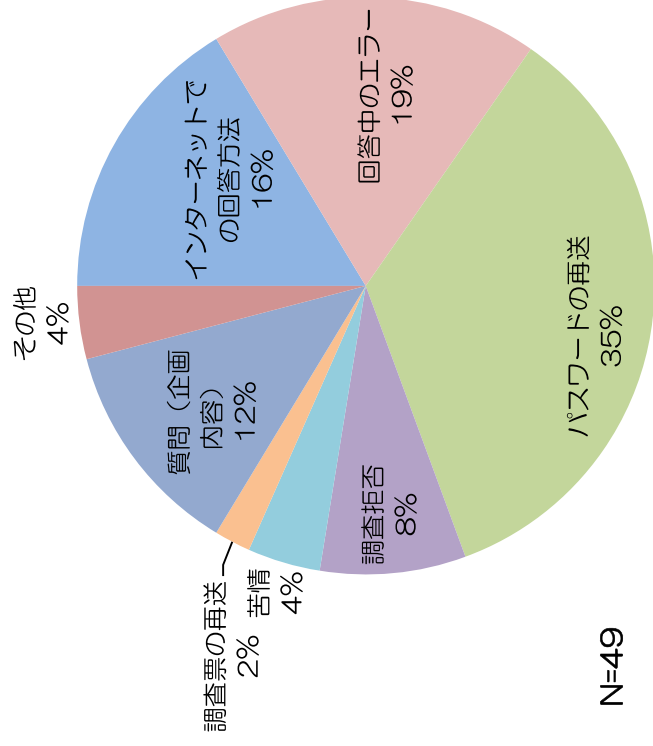
インターネットでのお問い合わせ

●お問い合わせ件数：49件

➢お問い合わせフォーム画面

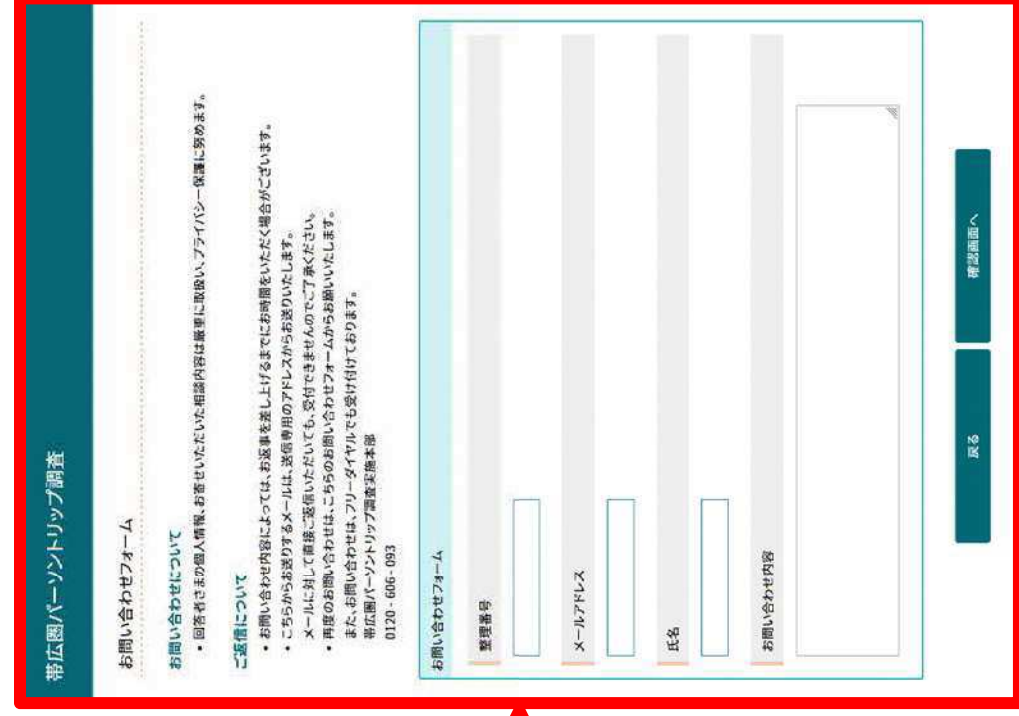


➢問い合わせ内容の内訳



【質問の具体的内容（抜粋）】

- 時間の無駄。調査の拒否をしたい。
- パスワードを忘れたので再送してほしい。
- 本当に公的なものか。
- 病気なので調査の協力ができない。
- WEBでの回答方法について教えてほしい。



ページ移動